

高瀬山

平成31年 1月15日(火) 10号
能登町立小木中学校

メールアドレス：ogi-jsc03@noto.ed.jp

ホームページにもアップしています。

間もなく新時代到来！ラストスパートの3学期！

年の瀬を迎えるにあたって、メディア上では頻繁に、「平成最後の〇〇」というフレーズを耳にしました。思い起こせば、1989年1月7日、14時36分、当時の小渕恵三官房長官が「新しい元号は『へいせい』であります。」と「平成」と墨で書かれた生乾きの2文字を掲げたことが、つい昨日のこのようです。込められた意味は『史記』の「内平外成（内平かに外成る）」、『書経(偽古文尚書)』大禹謨の「地平天成（地平かに天成る）」からで「国の内外、天地とも平和が達成される」だそうです。この30年間に世の中の情勢は大きく変わりました。学校においても「知識の詰め込み」から「ゆとり教育」、「学校週5日制の実施」など、大きな変化を見せてきました。そして現在は、世界に通用する人間育成のため、自ら進んで学ぶ「アクティブラーニング」や外国人とも意思の疎通ができる「コミュニケーション能力」が重要になっています。社会では人工知能AIの能力が人間を超え、キャッシュレスの時代の到来が言われています。5月1日からはどんな時代となるのでしょうか。

新年にあたって「集中力・持続力・判断力を磨いていこう」

いよいよ平成31年を迎えました。3学期は、「今年度のまとめ」の他に「次のステップへの準備」という意味合いがあります。3年生は高校受験を控えています。また、2年生は次のリーダーとなる準備、1年生は新入生と新3年生をつなぐ、学校全体を支える役割をしなければなりません。そして、学年が上がるにつれて、学習内容が難しくなります。勉強は学校生活の中心であり、避けて通ることはできません。また、いろんな面で責任も大きくなります。

そこで大切になってくるのが「自己管理の能力」です。みなさんは、物事の善悪は判ると思います。自分を如何にコントロールするかを考えて下さい。「今は楽しむ」「物事に集中する」「周囲の人のことを優先して考える」その場に合った態度をとれる感性を養って行って下さい。

また、今後の日本は外国人が数多く訪れることと思います。みなさんの関わる世界がどんどん広がってきます。文化や風習が違う多様な考え方の人たちと交流するには、社会性やコミュニケーション能力が必要になります。例えば、あいさつについて考えてみましょう。2学期末にとったアンケートでは、生徒のみなさんは「自分から進んであいさつしている」と答えています。保護者の方々はそう捉えていません。ここにズレがあります。このギャップを埋めていきましょう。社会に出たときに、あいさつは必要不可欠です。

「井の中の蛙」とならないために、今年は「集中力・持続力・判断力」を磨いていきましょう。



(小木中学校長 山岸茂樹)

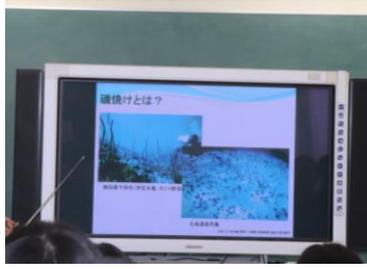
東京大学海洋アライアンス出前授業 開催！

12月11日(火)に講師に東京大学 山本光夫特任准教授を講師にお招きし、海洋アライアンス出前授業を行いました。演題を「鉄による海の緑化と沿岸部の環境保全」として講演をしていただきました。講演を聞くまでは「鉄と海がなぜ関係あるの？」などと思っていました。しかし、講師の山本先生が、スライドや中学生でも理解しやすい平易な言葉で説明して下さることで、製鋼の際に発生する“スラグ”と堆肥などの有機物が結びつき、海藻を育み、そこに小魚や大きな魚がやってくる。そして海が蘇っていくということを示されました。環境破壊によって海藻すら生えなくなった海を、鉄を使って蘇えさせる取組

は、小木の海を愛し、その海に誇りをもっている生徒たちにはとても興味深かったようです。本当に蘇るのかを確かめるために、スラグを入れない場所も作り、比較実験する。理科の授業を思い起こしました。



<講演される山本准教授>



<磯焼けとは？>



<緑化のイメージ>

スマホって便利だけど... 正しい使い方を考えよう!

1月14日(金)にスマホ学習集会が行われました。今後、スマホによる電子決済などを本格的に活用する時代になると予想されます。しかし、スマホは危険な一面も持ち合わせる「両刃の刃」であることを理解しなければなりません。特に危険なことは、個人情報盗み取られることです。そして、誹謗中傷で人を傷つけることです。集会では巧妙な手口によって女子生徒を誘い込み、不正な高額請求を仕掛けるビデオが流されました。本当に何気ない「ワンクリック」が取り返しのできない事態を招きます。「自分は絶対大丈夫」という思いは禁物です。

心静かに 新春書初め大会

1月8日(火)3学期始業の日に校内書初め大会が行われました。各学年の入賞者は次の通りです。

	金賞	銀賞	銅賞
1年生	山本 莉子	角田 美羽	板谷 翔斗, 平山 理奈
2年生	坂東 真緒	安田 藍	谷口 朔弥, 松本 心花
3年生	四方帆奈美	浦下 真緒, 奥成 生弥	新村 怜央, 川端 優太



1月の行事予定

日	曜	主な行事予定	日	曜	主な行事予定
1	火	元旦 学校閉庁日(～1月3日)	17	木	
2	水		18	金	学力向上実践研究発表会(柳田中) 漢字コンテスト
3	木		19	土	
4	金		20	日	
5	土		21	月	計画訪問C
6	日		22	火	15の門出プロジェクト(3年生)
7	月	冬休み補習	23	水	読書の日 職員会議
8	火	3学期始業式 校内書初め大会 身体測定(2年)	24	木	
9	水	身体測定(3年)	25	金	
10	木	身体測定(1年)	26	土	
11	金		27	日	
12	土		28	月	
13	日		29	火	
14	月	成人の日	30	水	社会人講話(5限)
15	火	学力テスト(3年) ベネッセテスト(1～2年) 小木防災の日	31	木	
16	水	学力テスト(3年) ベネッセテスト(1～2年)			

2月 私立一般入試1日(金), 立志式(2年生)6日(水), メンタル7日(木), 3年期末1～2年学力20～21日

新年を迎えるにあたって、以前に教えてもらった言葉を紹介しします。部活動での言葉ですが、部活動を「勉強」や「自己管理」と読み替えて考えてみてください。

敗者の条件

勝者になるために敗者の特性を知ろう

1. 敗者は、常に困難な仕事から逃げたがる

- 敗者は、継続した努力ができない。
- いやいや練習したって成長するはずがない。



2. 敗者は、間違っていると気づいても、改めようとしない。

- 敗者は、同じ注意を何度も受ける。集中力がない。
- 敗者は、自分が注意されたとき、同情してくれる仲間をさがす。
- 敗者は、自分の反省をしないで、すぐに言い訳をする。
例 「私だけじゃないがにい～ 私ばかり・・・」



3. 敗者は、心の底から喜びと感激を味わったことがない。

- 敗者は、何かひとつのことに対して、一生懸命になったことがない。
- 敗者は、ちょっと頑張ったぐらいで良い結果がでると思い込んでいし、うまくいかないときあきらめるのも早い。だから、満足いく結果が出ないことにも気づいていない。

4. 敗者は、自分で言い訳して不可能であると先に壁を作っている。

- 「できない」と思い込むのは、努力しない人の言い訳です。
- 敗者は、言い訳に逃げ込み、自分の長所を生かそうとしない。



5. 敗者は、真の敵は自分の心にあることを知らない。

- 敗者は、大きな声で挨拶・返事ができない。
- そのため、大会等で自分の力を発揮できない。
- 「どうせ、無理だ！できない。」と思い込むのも自分、「よし、やってやる！」とやる気を起こすのも自分の心です。

6. 究極の敗者は、平気で嘘をつき練習をサボる。



ここまできたら重症だ！！ みんなで力を合わせて治してあげよう！

どうですか？思い当たるふしはありませんか。喜びの春のために、今こそ頑張るときです。